会議結果報告書

| | |
|---|---|
| 1　会議名 | ごみ処理に関する課題についての意見交換会（湘南ライフタウンＦ地区茅ヶ崎自治会） |
| 2　日時 | 平成 30 年 8 月 26 日（日）10：30～11：30 |
| 3　場所 | 湘南ライフタウンＦ地区茅ヶ崎集会所 |
| 4　出席者 | （資源循環課）熊澤課長、下舞主任<br>（環境事業センター）林所長補佐、和田主事、石井（竜）技能労務統括主査<br>（湘南ライフタウンＦ地区茅ヶ崎自治会）参加人数：25 人 |
| 5　内容 | 本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。<br><br>●資料１に、平成 44 年度にかけて 10%のごみが減量されると記載があるが、その根拠は何か。家庭ごみ有料化と戸別収集の実施で 10%のごみが減るのか。<br>→資源物の品目拡大と人口減少により、ごみが約 10%減量されると想定している。家庭ごみ有料化と、戸別収集を実施した場合のデータではない。<br><br>●公債費とは何か。<br>→市の借金である。市の事業を行うために、銀行から借金をしている状況である。<br><br>●藤沢市の家庭ごみ有料化の対象品目は何か。<br>→藤沢市では燃やせるごみと、燃やせないごみを対象品目としている。本市で、家庭ごみ有料化を実施する場合は、近隣の他自治体を参考にして、検討する予定である。<br><br>●家庭ごみ有料化と戸別収集を実施した場合に、ごみが減る根拠は何か。<br>→家庭ごみ有料化を実施する場合、ごみは有料になり、資源物は無料になるので、分別に意識が働きごみが減ると想定される。戸別収集を実施した場合、敷地内にごみを出すので、適切にごみを出そうという意識が働き、ごみの減量が進むと想定される。<br><br>●家庭ごみ有料化を実施するなら、藤沢市と同じ金額設定にしてほしい。<br><br>●戸別収集を実施した場合、燃やせるごみを、もっと早い時間帯で収集してもらいたい。<br>→実施として、方向性が定まった際には、収集ルート等を検討する。<br><br>●かんの出し方を教えて欲しい。ダンボールに付着しているビニルテープは分けたほうがよいのか。<br>→「ごみと資源物の分け方・出し方」を参考に、排出をお願いする。ダンボールのビニルテープは可能な限り、剥がしてもらいたい。 |

| | |
|---|---|
| | ●戸別収集は実施されず、家庭ごみ有料化が実施された場合、不適正排出が心配である。指定袋以外の袋が残された場合は、誰が片付ければよいのか。<br>→現在でも不適正排出はあると思うが、不適正排出のごみ袋は、しかるべき時期に収集している。家庭ごみ有料化が実施された場合も、同じように対応することが考えられる。<br><br>●不適正排出が頻繁にあるので困っている。<br>→不適正排出された袋には、シールを貼って啓発しているが、最終的には収集している。戸別収集が実施された場合も、同じ対応になると思われる。<br><br>●雑紙と本を一緒に出してもよいのか。<br>→紙の分別のチラシを参考に排出をお願いする。<br><br>●家庭ごみ有料化を実施したい理由を教えて欲しい。今後、どの程度の費用が必要なのか。<br>→家庭ごみ有料化と、戸別収集の実施は未定である。家庭ごみ有料化を実施した場合の歳入は、灰の再資源化にかかる経費や、ごみ処理施設の修繕費等の一部に充てたい考えである。設備修繕等にかかる経費は、別紙２裏面を参考にしてもらいたい。<br><br>●ごみの減量をするなら、ごみの発生源である、スーパーを指導する必要があるのではないか。プラスチック製品やプラスチック製容器包装類の使用を禁止してはどうか。遊歩道にかんやペットボトルがポイ捨てされているので、自動販売機を無くしたほうがよいと思う。<br>→市で経済活動を制限することは出来ない。市全体から排出されている、ごみのほとんどが、家庭系燃やせるごみなので、その減量に努めることが、市が行うべき行動であると認識している。<br><br>●びんを集積場所に出す際に、コンテナを色ごとに分けてはどうか。<br>→排出者の手間等を考慮して、現在の分類になっている。<br><br>●家庭ごみ有料化になったら、剪定枝は有料になる予定なのか。<br>→現在、資源物になるように検討中である。<br><br>●焼却灰から製品を作り、市内でリサイクルできないか。<br>→灰の約 15%を市外で処理しているが、約 50,000 円／ｔの経費がかかっている。灰の埋立てに約 25,000 円／ｔの経費がかかっている。製品を作る場合は、販路を確保しなければならないので、市内で行うことが難しい状況である。 |

| | |
|---|---|
| | ●プラスチック製容器包装類をリサイクルして、指定袋を作れないのか。<br>→プラスチック製容器包装類は、固形燃料にリサイクルされている場合がほとんどである。<br><br>●ごみが減少傾向にあるので、家庭ごみ有料化や戸別収集を行う必要がないのではないか。不安材料はどこにあるのか。<br>→最終処分場が、2033 年度以降に使用できなくなる点が最大の不安材料である。<br><br>以上 |